

「オーストラリアにおける FTA の進行状況」

三菱東京UFJ銀行

アジア法人業務部

オーストラリアは、シンガポール、タイとのFTA(自由貿易協定)を締結している他、ASEAN全体とのFTA交渉も進めている。タイとのFTA締結後は、オーストラリア側の完成車輸入関税が引き下げられ、タイからの自動車輸出が増えるといった効果が出ている。また、オーストラリアは、マレーシア、中国とFTA交渉中の他、日本、インドネシアとFTAの共同研究を進めつつある。オーストラリアとアジア諸国との経済関係の緊密化は今後も進展すると見られており、日系企業にとってはFTA進展による関税引き下げメリット(輸出増、輸入コスト減)を享受することが可能になる。

1. オーストラリアのFTAへの取り組み

相手国・エリア	交渉進展状況	
ニュージーランド	締結済	1983年1月1日発効 名称:「オーストラリア・ニュージーランド経済協力緊密化協定」(ANZCERTA) ⇒自由貿易協定
シンガポール	締結済	2003年2月締結、7月発効。名称:SAFTA ⇒全ての物品の関税が無税に
米国	締結済	2004年5月調印、2005年1月発効 名称:「オーストラリア・米国自由貿易協定」(AUSFTA) ⇒米国側の非農産品(除く繊維製品・衣服)の97%の関税が無税に。2015年には米国側の非農産品の全ての関税は無税に ⇒オーストラリア側の工業製品の99%の関税が無税に(工業製品は米国からの輸出の93%を占める)。2015年には工業製品の全ての関税は無税に
タイ	締結済	2004年7月調印、2005年1月発効。名称:TAFTA ⇒タイ側は当初全品目中、5割の品目の関税を撤廃(オーストラリアからの輸出の80%を占める) ⇒オーストラリア側は当初全品目中、83%の品目の関税を撤廃 ⇒2010年には両国間の貿易額の98%の関税が無税に ⇒両国の個別品目の関税引き下げスケジュールについては、 http://www.thaifta.com/english/index_eng.html のTariff Schedule of Thailand および Tariff Schedule of Australia で確認可能
ASEAN (ニュージーランドと合同)	交渉中	2005年2月交渉開始 ⇒2007年末の基本合意を目指し交渉中
アラブ首長国連邦(UAE)	交渉中	2005年3月交渉開始で合意
中国	交渉中	2005年4月交渉開始で合意 ⇒2006年2月、中国の温家宝首相は2年以内に締結したいという目標を示している ⇒中国側にはオーストラリアからの安価な農産物流入懸念がある ⇒オーストラリア側には中国からの安価な工業製品流入懸念がある
マレーシア	交渉中	2005年4月交渉開始で合意 ⇒2007年末の基本合意を目指し交渉中
日本	共同研究	2005年4月共同研究に合意 ⇒共同研究に2年程度かかる見込み ⇒本交渉開始には日本の農業関係者から反対の声が出ている
インドネシア	共同研究	2006年8月共同研究に合意
韓国	共同研究	2001年共同研究報告書完成 ⇒韓国側の農業問題がネックとなりFTA交渉には移行していない

(出所)各種報道より三菱東京UFJ銀行アジア法人業務部作成

2. タイ・オーストラリアFTAにおける関税率下げ

タイ・オーストラリアFTAにおいては、自動車や家電製品の関税率下げが行われたため、日系自動車メーカーや家電メーカーによるタイからオーストラリアへの輸出が拡大するなど、日系企業のタイでの生産拡大につながっている他、ASEAN内での生産体制検討やASEAN・オーストラリア間の商流変化といった影響が出ている。

農産品等については、今後、関税率が段階的に下がる予定であり、これらの関税率推移は、ホームページ(http://www.thaifta.com/english/index_eng.html)で確認が可能。例えば、「骨なし牛肉(HSコード:020103)」をオーストラリアから輸入する際のタイ側の関税率推移は以下の通り。

【タイ・オーストラリアFTAにおける、タイ側の骨なし牛肉(HSコード020103)の関税率推移】 (％)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
関税率	40.00	37.33	34.67	32.00	29.33	26.67	24.00	21.33	18.67	16.00	13.33	10.67	8.00	5.33	2.67	0.00

《 参考になる FTA サイト 》

オーストラリアのFTA <http://www.fta.gov.au/>

タイのFTA http://www.thaifta.com/english/index_eng.html

オーストラリア・米国 FTA についての米国側のサイト

http://www.ustr.gov/Trade_Agreements/Bilateral/Australia_FTA/Final_Text/Section_Index.html

※注： FTA の成果については、当該国政府は、自国の企業にとって FTA 締結でどのようなメリットがあるかを解説するケースが多い。つまり、当該国側では自国側のどの品目の関税が下がるかはあまり強調されていない。このため、輸出先国の関税下げ等のメリットをチェックする場合は、輸出側の国のウェブ・サイトでメリットを確認するのが効果的（＝例えばA国からB国に輸出する場合、A国側のウェブ・サイトでメリットを確認する）。

《 FTA 関連レポート 》

AREA Report 111 「ASEAN－中国 FTA (ACFTA)」の動向 2006年6月8日

AREA Report 76 「ASEAN・インドにおける FTA の進行状況」 2004年5月18日

(アジア法人業務部 北村広明)

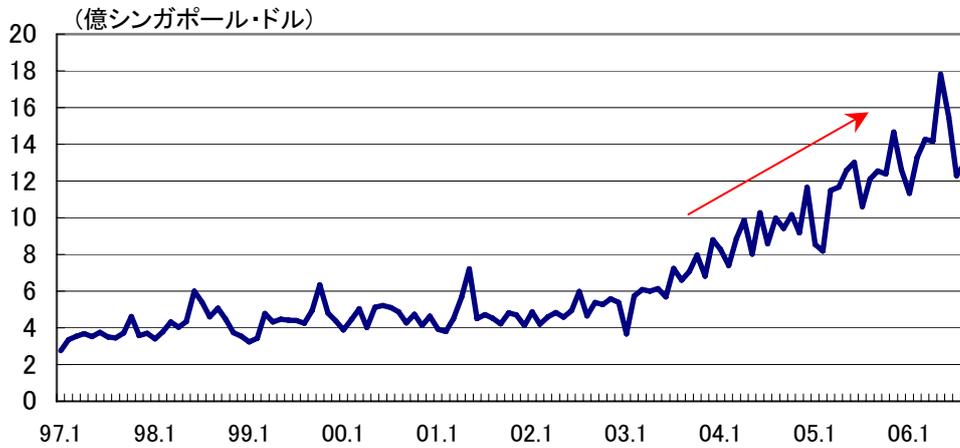
E-mail: hiroaki_kitamura@sg.mufg.jp

TEL: (シンガポール) 65-62311786

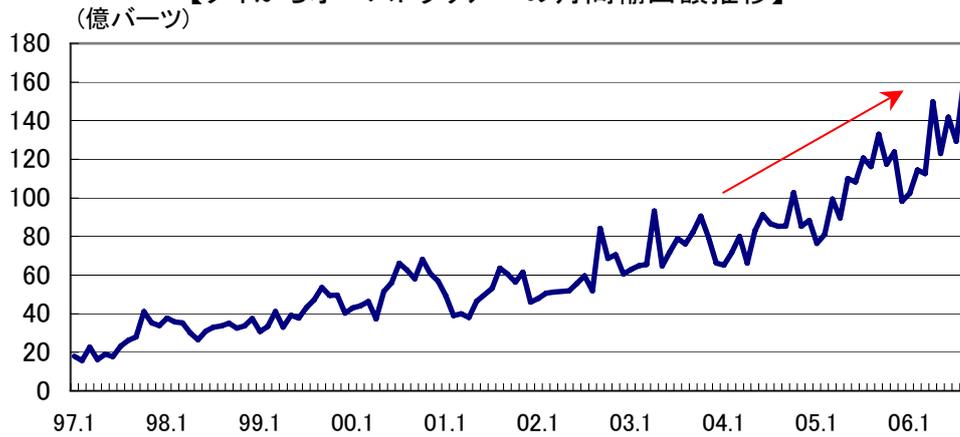
※ 本レポートは情報の提供を目的に作成しておりますが、お取引の最終判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。資料は信頼できるとされるソースを基に作成しておりますが完全性を保証するものではありません。

《ご参考》シンガポール、タイからオーストラリアへの輸出額推移

【シンガポールからオーストラリアへの月間輸出額推移】



【タイからオーストラリアへの月間輸出額推移】



(出所) CEICより三菱東京UFJ銀行アジア法人業務部作成